

山の農学 — 「山の日」から考える

- 日 時：平成28年10月8日（土）午前10時より（午前9時30分開場）
- 会 場：東京大学弥生講堂
（地下鉄 南北線「東大前」駅下車徒歩1分、千代田線「根津」駅下車徒歩8分）
- 主 催：日本農学会
後 援：園芸学会、森林立学会、日本応用動物昆虫学会、日本雑草学会、日本森林学会、日本造園学会、日本畜産学会、農村計画学会、東京大学大学院農学生命科学研究科、（公財）農学会
- 主な対象：一般・学生・院生・若手研究者
- 参加費：無料（先着300名）
- 講演要旨：別売
- 内 容：

2016年に新たな国民の祝日として「山の日」が施行される。山は日本の国土の約7割を占めており、昔から人々の生活と直接的にも間接的にも関わりが深く、農業との関わりも極めて多面的である。そこで本シンポジウムでは、各農学分野における「山」をテーマとした研究とその展望を紹介し、山と農学との関係を新たに捉え直しアピールする契機としたい。研究フィールドは国内外を問わず、様々な角度から、山を取り巻く農学研究を紹介するものとする。

■講演題目：

- 10:10 「大学山岳部が農学研究に果たした役割」 静岡大学 杉山 茂
- 10:45 「古地図から読み解く百年で移り変わる山の風景」 森林総合研究所 岡本 透
- 11:20 「山を登る雑草—白山国立公園の高山・亜高山帯に侵入した低地性植物の影響と対策—」 大阪府立大学 中山 祐一郎
- 13:00 「国立公園等の保護地域における登山、観光と自然保護」 岩手大学 山本 清龍
- 13:30 「獣害対策から考える山との向き合い方」 岡山大学大学院 九鬼 康彰
- 14:10 「地方創生、里山活用における山羊の放飼事例」 元玉川大学 安部 直重
- 14:45 「山の昆虫から農業への贈り物—里山の景観管理と生態系サービス—」 森林総合研究所 岡部 貴美子
- 15:20 「日本の自然環境・生物多様性と調和した持続可能な林業の原則」 森林総合研究所 正木 隆
- 16:10 総合討論